

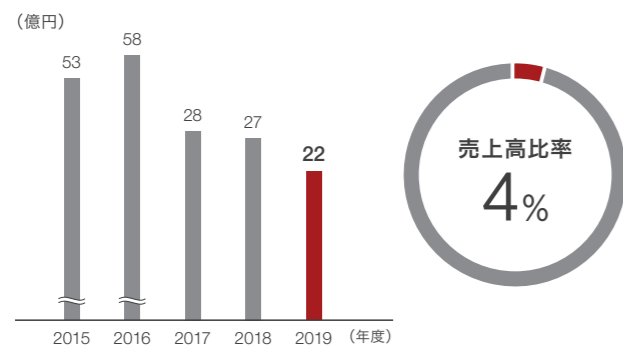


New Business **新規事業**

制御技術を活用した多様なソリューションで、社会課題の解決に貢献します。

IDECグループの新規事業は、IDECファクトリーソリューションズ株式会社を中心とする協調安全ロボットシステム事業と、IDECシステムズ&コントロールズ株式会社を中心とする環境・エネルギー関連事業を主な領域として展開しています。産業現場での労働力不足や地球温暖化などの社会課題に、IDECグループ一丸となって貢献しています。

売上高推移



2019年度の業績

環境・エネルギー関連事業の売上は、前年度に比べて減少したものの、営業利益額、営業利益率は過去最高となりました。協調安全ロボットシステム事業については、中小企業を含む多様な企業向けに導入事例が増加するなど、売上は堅調に推移しました。

事業戦略

協調安全ロボットシステム事業

IDECの強みである安全関連機器や安全システムを軸に、各種メーカーの協働ロボットやビジョンセンサ、人工知能(AI)、自律走行搬送ロボット(AMR)などを組み合わせたシステムと多様なアプリケーションパッケージを、顧客ニーズに合わせてご提供しています。



環境・エネルギー関連事業

自家消費型ソーラー発電をはじめとする再生可能エネルギーや、BCP(事業継続計画)対策のための電力供給、次世代農業ソリューション、それらを連携させた生産、物流、店舗までのサプライチェーン全体におよぶストアソリューションなど、長年培ってきた制御技術、環境技術を活かして、グローバルレベルで進行するさまざまな社会課題の解決に貢献しています。

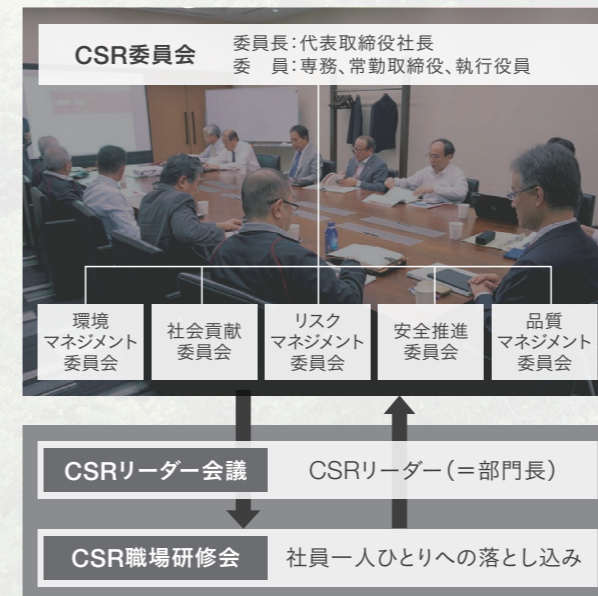


経営と一体となったCSR活動

IDECグループは、創業の理念である「人間性尊重経営」を最も重要な基盤とし、IDECグループを取り巻く全てのステークホルダーの皆さまの幸せを最大化することを大切にしています。これを推進するための取り組みとして『The IDEC Way』、CSR憲章、そして国連グローバル・コンパクト10原則に基づいたCSR活動を行っています。CSR活動を、経営の重要課題と位置づけ、CSRマネジメント体制を構築しています。

CSR推進体制

IDECグループは、2018年4月より、持続可能な社会の実現に向けて企業の社会的責任を果たすため、代表取締役社長を委員長とする「CSR委員会」を設置しました。ESGに私たちの強みである「安全」「品質」を加えた5つの分野の専門委員会を設け、独自のCSR活動を推進しています。各専門委員会の委員長は執行役員とし、専門知識や経験を持ったメンバーで構成し、テーマに即した施策に取り組んでいます。CSR委員会は年2回開催し(2019年度は4月、10月)CSR活動全般および各専門委員会の取り組みについて審議・承認し、CSRリーダー会議、CSR職場研修会を通じて全ての社員へ展開しています。



サプライチェーン全体で取り組むCSR

社会の持続可能な発展に貢献することを目的に、サプライヤーさまと協力し、国内外でCSR調達を推進しています。IDECの主力工場の一つである中国・蘇州の生産拠点では、2017年より毎年「お取引先さま交流会」を開催しており、2019年は「CSR調達説明会」を実施しました。サプライチェーン全体で取り組む重要性についてご説明し、併せて「IDECグループ CSR調達ガイドライン」に則った責任ある調達推進への理解と協力を要請しました。



中国・蘇州でのCSR調達説明会 (2019年11月18日)

IDECグループCSR調達推進計画

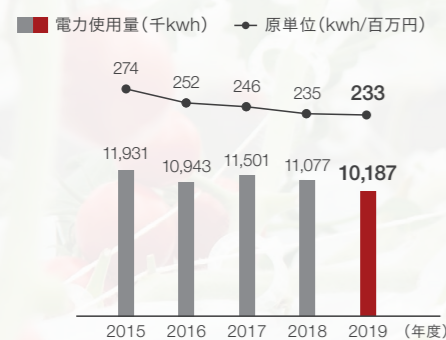
2018年度	「IDECグループCSR調達ガイドライン」制定 CSR調達説明会(国内) CSR調達の実態調査アンケート
2019年度	サプライヤーさまへの訪問確認 CSR調達説明会(中国・蘇州) CSR監査計画策定
2020年度	サプライヤーさまへのCSR監査実施 国際社会に通用するものづくりを実現する サプライチェーンの構築へ

ESG+Sa+Q

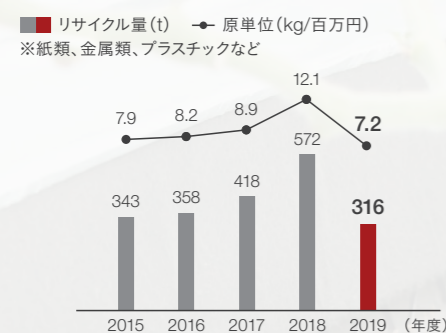


IDECグループは、事業活動の全ての面で環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指しています。また、グループ全体で環境マネジメントシステムの国際規格であるISO 14001認証の取得を推進しています。

電力使用量 (IDEC単体)



リサイクル量 (IDEC単体)



脱PETボトルチャレンジ

海洋汚染などPETボトルが地球環境に与える悪影響を低減するため、「脱PETボトルチャレンジ」と題し、本社はじめ国内主要事業所にて以下の取り組みを実施しています。

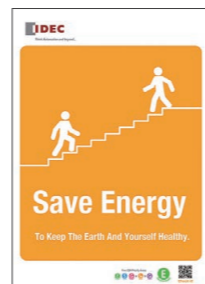


社内での取り組み

「IDECグループ グリーン調達ガイドライン」に基づき、環境負荷の少ない原材料や部品、設備などを優先的に調達する「グリーン調達」を行っています。また、「グリーン購入手順書」に基づき、環境負荷の少ない事務用品、消耗品、器具备品類を優先して購入する「グリーン購入」も推進しています。

そのほか、社員一人ひとりに環境に配慮した行動を促すため、階段利用を推奨するポスターや、空調の省エネを推奨する卓上POPを社内に掲示しています。

上: 階段利用啓発ポスターをエレベータ前に掲示
下: 暖房の推奨温度を記載した卓上POPを会議室に設置



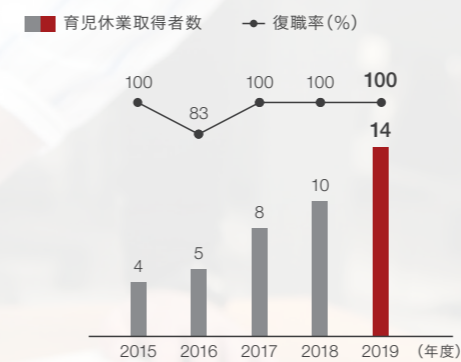
環境に配慮した製品開発

製品開発の企画段階から環境負荷を低減するための課題を抽出し、省エネ性向上・省資源・省スペース・長寿命化といった環境配慮について独自の基準を設定しています。それに基づき環境配慮度の評価・判定を行い、製品毎にランク付けしています。また、環境配慮型製品に該当する製品やサービスであることを示すシンボルとして、環境ラベルマークをデザインしました。お客さまにも容易に判別していただけるよう、ウェブサイトやカタログでのラベル表示を進めていきます。

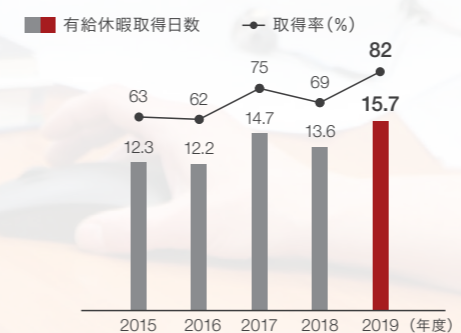


IDECグループは「人間性尊重経営」に基づき「全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現」のため、社会課題に応える活動を継続的に実施し、社会との良好な関係を構築していきます。

育児休業後の復職率 (IDEC単体)



有給休暇取得率 (IDEC単体)



人権の尊重

IDECグループは人間性を尊重し、人種・性別・国籍・宗教・障がい差別等のないダイバーシティを推進した環境づくりに努めています。

これまでの人権啓発教育を充実させるため、2019年より、ハラスメントやLGBTへの理解促進として「人権・ハラスメント研修」を実施しています。また、APEM社では、仕事を見つけるのが困難な人々の雇用を支援するフランス政府の施策「La France, une chance.」に参画し、関係者と情報を共有しながら活動を展開しています。



「La France, une chance.」 APEM関係者

健康への取り組み

IDECグループでは、社員とその家族が「心身ともに健康である」ことが全ての基盤であるという認識のもと「IDECグループの健康宣言」を制定し、健康経営に取り組んでいます。



IDECヘルスケアセンター(本社)での保健師面談

毎年の健康診断に加え、ストレスチェックの実施や保健師(本社常勤)・産業医面談実施等を通じ、健康状態の改善と把握に努めています。

特に優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人 2020」の認定を受けています。



ライフワークバランス

2019年7~8月に本社、滝野事業所(兵庫県)、中国の蘇州和泉電気で子ども参観日を行いました。子どもたちが会社を訪れることで、家族と会社、そして仲間との一体感を促進し、社員が働きやすい環境を醸成しています。

また、雇用・働き方が大きく変化する社会のなかで、キャリア形成、活躍の機会提供を実践している企業を表彰する、東洋経済新報社の「第2回プラチナキャリア・アワード」で「東洋経済賞」を受賞しました。

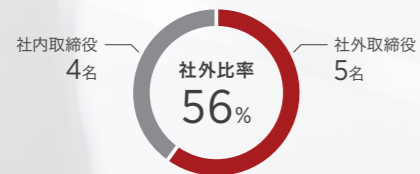
今後も、社員がいそいそと安心して働くことができる「ライフワークバランス」を実現し、働きやすい環境づくりを推進していきます。



本社での子ども参観日参加者

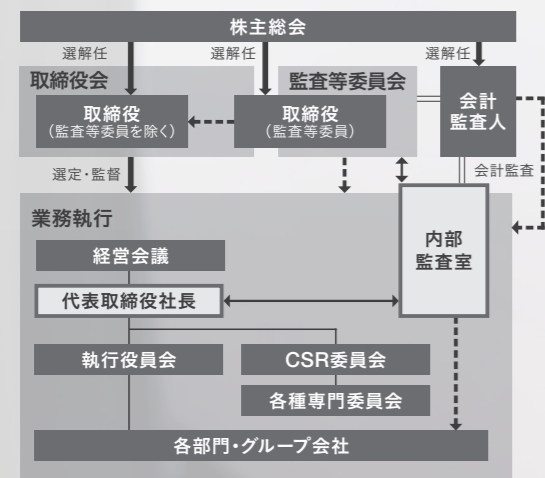
IDECグループは、株主さまをはじめとするステークホルダーに対して、経営の透明性と効率性を確保するために、ガバナンス体制のさらなる強化を推進します。

社外取締役比率(2020年6月時点)



取締役会は、取締役4名(うち社外1名)と、監査等委員である取締役5名(うち社外4名)の計9名で構成され、社外役員を多く任用し経営の透明性を確保しています。

ガバナンス体制



— 連携 ← 指示・報告 → 監査

社外役員交流会

経営トピックスや取り組むべきテーマに関する知識を深め、意見交換することを目的に、取締役会とは別に社外役員同士がコミュニケーションを強化する場として「社外役員交流会」を開催しています。2019年度は「グローバル経営」をテーマにした交流会を開催し、執行役員6名も交えて活発な意見交換を行いました。



コンプライアンス

『The IDEC Way』の制定を踏まえて、職務を行ううえでの基本的な行動指針を「IDECグループ行動基準(第4版)」として見直し、グローバルな行動基準として作成を進めています。また、入社年数や職責に応じた階層別研修においてコンプライアンス研修を実施し、業務中での気づきを促進できるようにコンプライアンス意識の醸成を図っています。

内部通報窓口である「IDECホットライン」も活用し、コンプライアンス違反の芽を早期に発見・対処できる体制を構築しています。



リスクマネジメント

リスクマネジメント委員会において、業務を行ううえで起こりうるリスクを想定し、その影響度や発生頻度を試算してリスクマップを策定しています。その中から各年毎に対処するターゲットリスクを定め、全社および各部門がリスク低減に向けた対策を実施しています。

主なターゲットリスク	主な対策
地震等災害時対応	緊急時対応体制と責任者の明確化 出退社基準の策定
製品事故発生防止	QMSの手順書、帳票の整備
システム障害回避	システムの24時間監視、障害対応クラウドを利用したバックアップ検討
ハラスメント対策	研修会の実施、相談窓口の周知
法令コンプライアンス	関連法規の勉強会実施

役員紹介

取締役



船木 俊之
代表取締役会長兼社長



船木 幹雄
代表取締役専務



山本 卓二
常務取締役



小林 浩
取締役



藤田 慶二郎
取締役



川人 正孝
取締役



金井 美智子
取締役

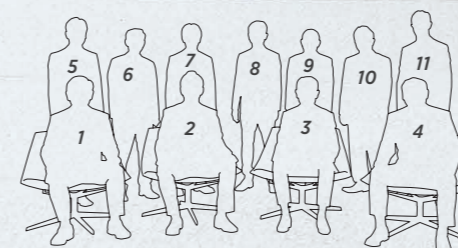


八田 信男
取締役



姫岩 康雄
新任 取締役

執行役員



- 1 赤松 浩二
常務執行役員
生産・SCM担当
- 2 藤田 俊弘
常務執行役員
技術戦略担当
- 3 Arnaud Mondy
常務執行役員
マーケティング戦略担当
- 4 河中 泰治
常務執行役員
国内営業担当 中国事業推進担当(兼)
- 5 釣 正樹
執行役員
品質保証担当
- 6 西山 嘉彦
執行役員
経営管理担当
- 7 吉見 晋一
執行役員
経営戦略企画担当
- 8 松本 敦
執行役員
開発担当
- 9 錦 朋範
執行役員
技術開発担当
- 10 原田 博丞
執行役員
新規事業開発担当
- 11 Marc Enjalbert
執行役員
APEM担当

ESG+Sa+Q

Webサイトでの情報開示
<http://jp.idec.com/ja/csr>
 IDECグループの詳細なCSR情報はWebサイトよりご覧いただけます。



Sa

Safety

安全

IDECグループは、グローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、全ての事業活動において常により高い安全性を実現し、世界一安全・安心を追究・実現する企業を目指しています。

セーフティオフィサ、セーフティセッサおよびセーフティベーシックセッサ有資格者数
 (2020年4月時点)

411名 | 前年度比 +49

ロボット・セーフティセッサ有資格者数
 (2020年4月時点)

118名 | 前年度比 +22

安全セミナー・防爆セミナーの累計開催回数および受講者数
 (IDEC単体)

年度	累計開催回数	累計受講者数(名)
2015	1,421	34,195
2016	1,484	35,245
2017	1,570	37,115
2018	1,624	38,254
2019	1,733	40,099

安全教育

「安全・安心」を社会に提案し啓発できる人材育成を目的として、全正社員向けに安全研修を実施しています。安全に関わる業務を行っている社員がセーフティエバンジェリストとして講師を務め、IDECグループの安全の歴史や考え方、安全製品のほか、協調安全/Safety2.0などの最新動向を伝えています。



安全研修の様子

セーフティセッサ資格者の育成

国際安全規格に基づいた安全なものづくりや安全コンサルティングを行うため、資格制度発足以来、継続して社員にセーフティセッサ資格の取得を奨励しています。その結果、最上位資格であるセーフティリードアセッサの有資格者数は国内トップとなっています。また、2018年に新設され、ロボット分野の基本安全知識の保有を認証する「ロボット・セーフティセッサ」資格の取得も奨励するなど、ロボット安全分野の人材強化にも注力しています。

※セーフティセッサ資格とは経済産業省の基準認証事業で(一社)日本電気制御機器工業会が開発し、日本認証(株)が実施しているグローバルに通用する機械・制御・防爆安全に関する安全技術者や管理者を育成する資格認証制度です。

協調安全/Safety2.0 ガイドブックの発行

人と機械・ロボットが協調作業を行い、安全性と生産性の両立を実現する概念である「協調安全/Safety2.0」の最新潮流やIDECグループの取り組みを紹介する冊子を作成しました。IDECは世界一安全・安心を追究・実現する企業として、「協調安全/Safety2.0」を安全に関するイノベーションとして啓発活動を行っています。



社内外で協調安全の啓発に活用

ISO 45001 認証取得

兵庫県にある滝野・福崎・尼崎の3事業所で、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO 45001 認証を取得しています。2020年度は、竜野物流センターを加えた4拠点での認証取得を目指しています。

Q

Quality

品質

IDECグループは、「製品の価値を品質におく」ことを基本姿勢とし、「安全」「安心」な製品やサービスをお届けするため、品質マネジメントシステムを基盤とした開発・生産・販売・サービス提供に取り組んでいます。

過去5年間の品質管理検定の級保持者数推移

年度	級保持者数(名)
2015	493
2016	542
2017	555
2018	614
2019	646

品質管理検定(QC検定)の級保持者数
 (2019年11月時点)

646名 | 前年度比 +32

級別	保持者数(名)
1級	1名
準1級	7名
2級	64名
3級	426名
4級	148名

品質教育

社員一人ひとりの品質の知識および意識向上を目的として、品質管理検定の受検を奨励しています。また、社員への品質管理研修を継続的に行っています。



一丸となって作業の安定化に向けた対策を立て、昨年に続き入賞した中国のサークル

これらによって学んだことを業務で活かす場として、各拠点に自主改善活動グループであるQCサークルが存在し、改善提案を行い、品質向上や業務の効率化に取り組んでいます。

2019年11月に開催した第5回QCサークル発表大会では、日本・中国・台湾・タイの拠点から選抜された11サークルが活動を発表しました。

グローバル品質会議の開催

グローバルレベルで品質に対する意識改革を図り、生産拠点間の連携を強め、品質管理体制の向上を図ることを目的として、2017年よりグローバル品質会議を毎年開催しています。2017年は中国、2018年は台湾、第3回となる2019年はタイで開催しました。各国から品質管理に携わる社員が参加し、品質に関わる取り組みの報告や



タイで開催した第3回グローバル品質会議(2019年12月12~13日)

ディスカッション、品質課題についてグループワーク等を行い、課題やノウハウを共有しました。

ISO 9001 認証取得

品質を備えた製品やサービスを提供するため、品質マネジメントシステムを構築し、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001 認証を取得しています。



IDECグループ ISO 9001 認証登録会社名

- IDEC株式会社
- APEM Components Ltd.
- IDECファクトリーソリューションズ株式会社
- MEC Aps
- IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD.
- APEM Inc.
- 台湾愛徳克股份有限公司
- SACEMA
- 蘇州和泉電気有限公司
- SAMELEC
- APEM SAS
- APEM Wujin Electronic Co., Ltd.